

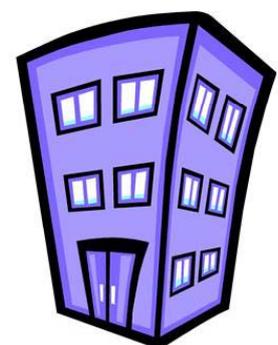
と畜場での衛生管理について

神戸市食肉衛生検査所
所長 松尾 秀輝

1

本日の内容

- ① BSE対策におけると畜場の役割
- ② SRMの範囲変更に伴う分別管理
- ③ まとめ



2

1 BSE対策におけると畜場の役割

BSEに関する2つの安全確保

BSE検査



BSEに罹患している
牛の排除

+

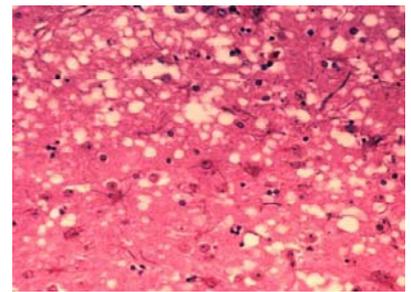
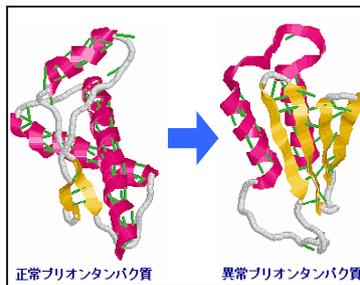
SRM除去



SRMに汚染されていない
牛肉の提供

1 BSE対策におけると畜場の役割

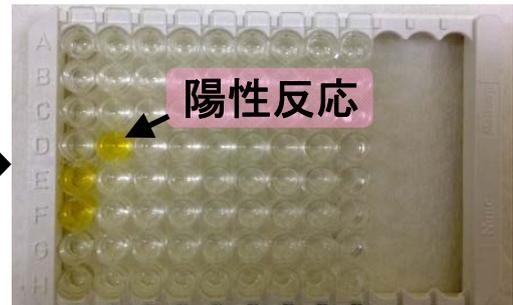
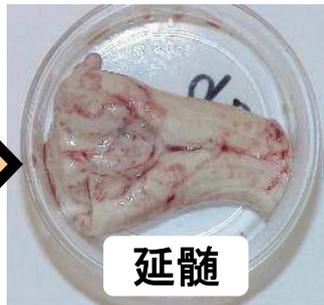
BSE検査



BSE発症牛は異常プリオンタンパク質により脳がスポンジ状に変化



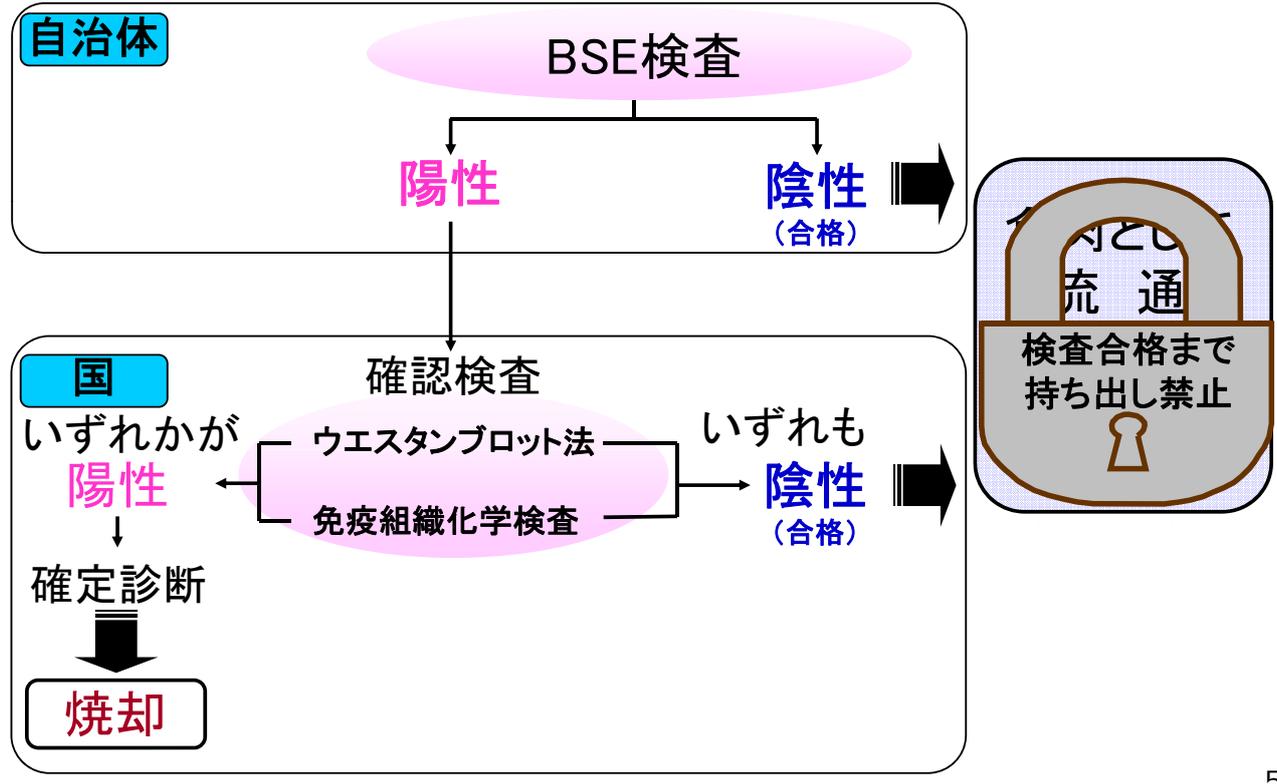
牛の頭部からの延髄採取



異常プリオンタンパクの検出

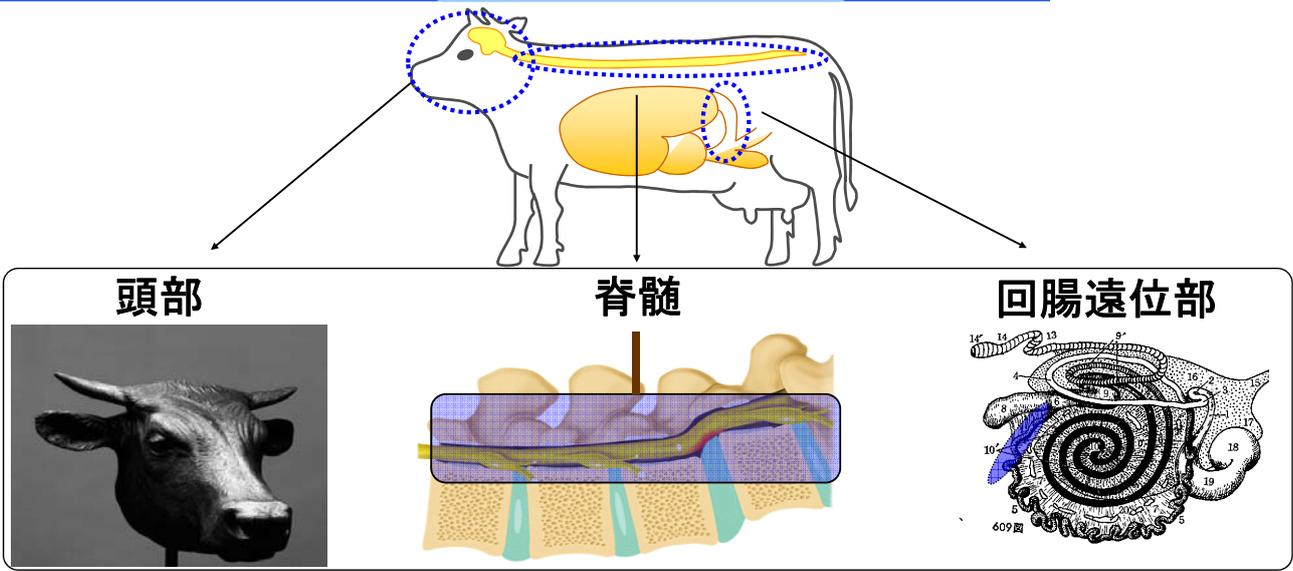
1 BSE対策におけると畜場の役割

BSE検査



1 BSE対策におけると畜場の役割

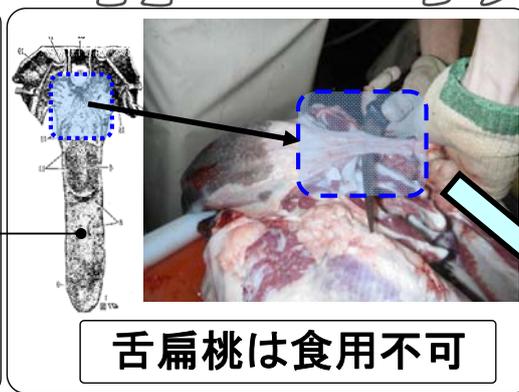
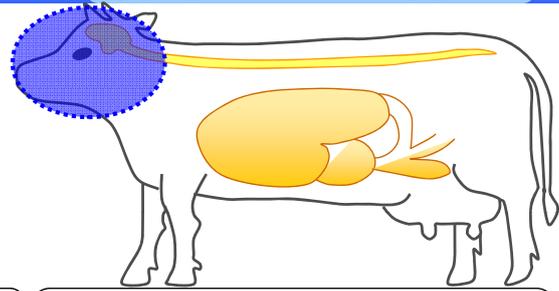
SRM除去



確実に除去して専用容器に廃棄

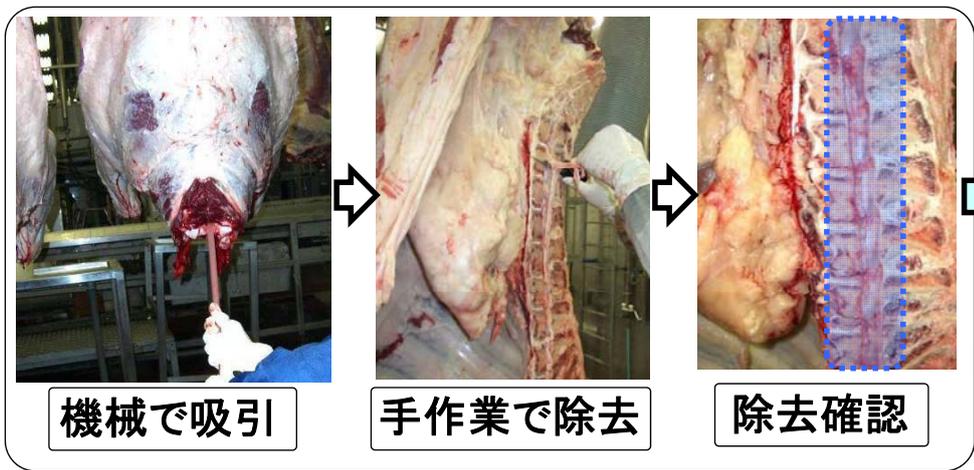
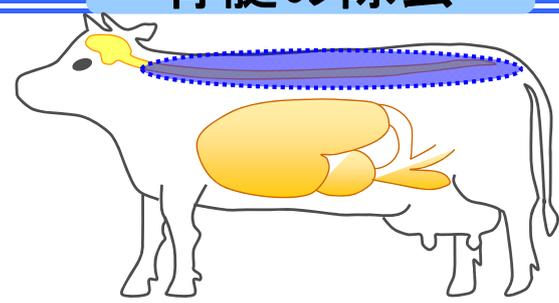
1 BSE対策におけると畜場の役割

頭部のSRM除去



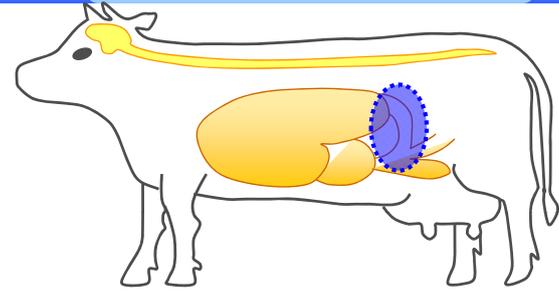
1 BSE対策におけると畜場の役割

脊髄の除去



1 BSE対策におけると畜場の役割

回腸遠位部の除去

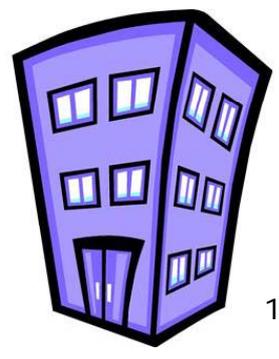


回腸(盲腸接続部分から2m)を手作業で除去

The block contains three images: on the left, a detailed anatomical drawing of the ileocecal junction with a blue dashed circle indicating the removal site; in the center, a photograph of the removed ileum with a blue dashed circle; on the right, a photograph of the removed ileum next to a ruler for scale. Below these images is a text box with the instruction: "回腸(盲腸接続部分から2m)を手作業で除去".

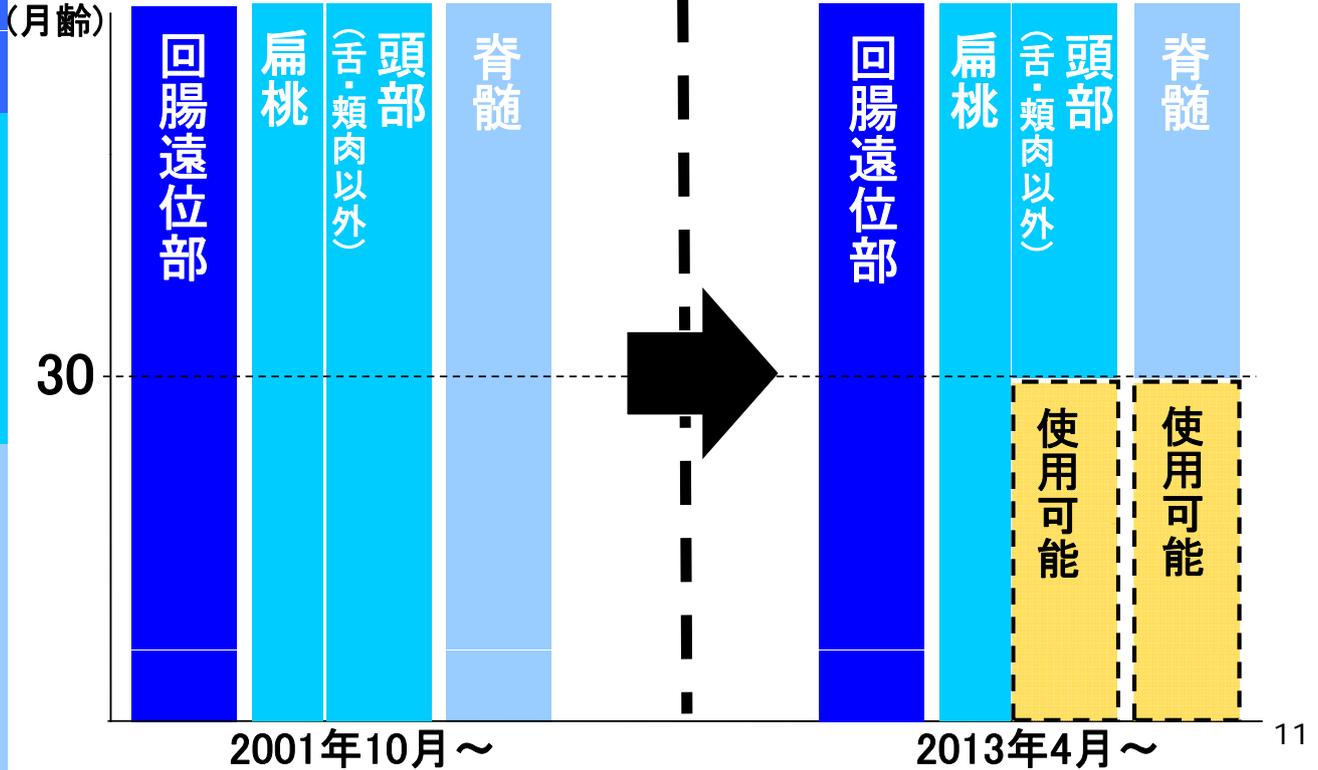
本日の内容

- 1 BSE対策におけると畜場の役割
- 2 SRMの範囲変更に伴う分別管理
- 3 まとめ



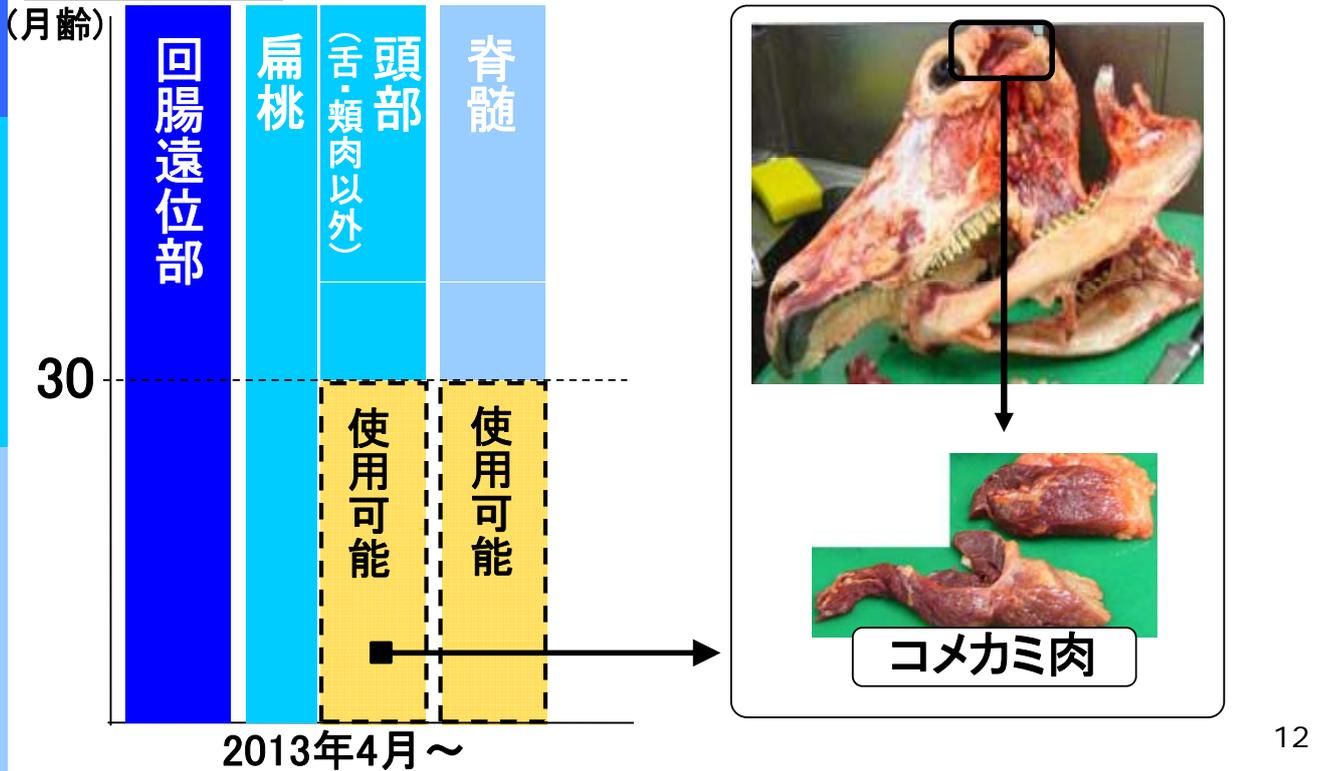
SRMの範囲変更

SRMの範囲変更



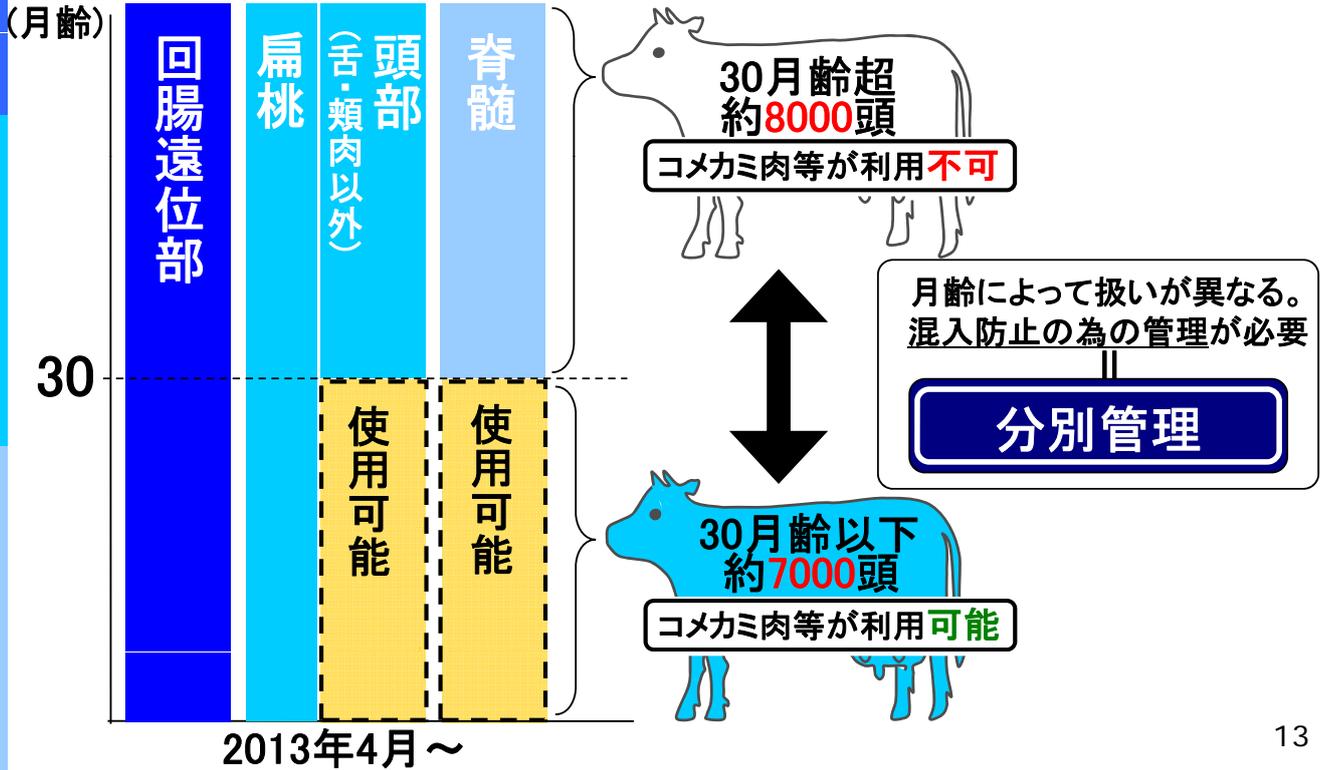
SRMの範囲変更

SRMの範囲変更



SRMの範囲変更

SRMの範囲変更



分別管理(生体時)



耳標に記載された個体識別番号から月齢を確認

個体識別番号	出生の年月日	雌雄の別	母牛の個体識別番号	種別(品種)
02527 30199	H 20.10.01	メス	1150894007	黒毛和種

飼養県	異動内容	異動年月日	飼養施設所在地	氏名または名称
1 兵庫県	出生	H 20.10.01	豊岡市	JA全農兵庫但東畜産センター
2 兵庫県	転出	H 23.04.18	豊岡市	JA全農兵庫但東畜産センター
3 兵庫県	搬入	H 23.04.18	神戸市長田区	神戸市立食肉センター
4 兵庫県	と畜	H 23.04.18	神戸市長田区	神戸市立食肉センター



生体への標識

2

SRMの範囲変更に伴う分別管理

分別管理(枝肉・内臓)



生体への標識



枝肉への標識



内臓への標識

15

2

SRMの範囲変更に伴う分別管理

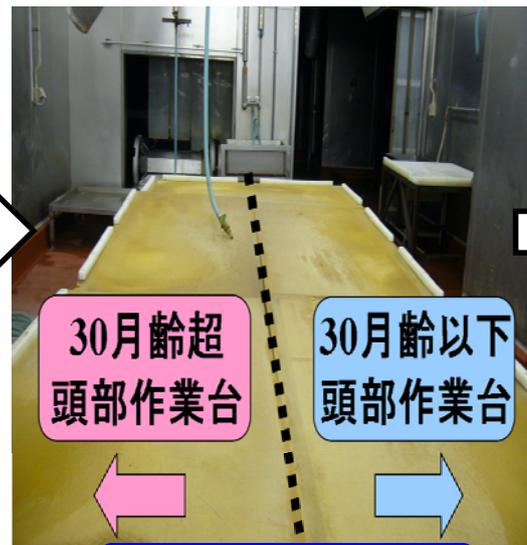
分別管理(頭部)



頭部への標識

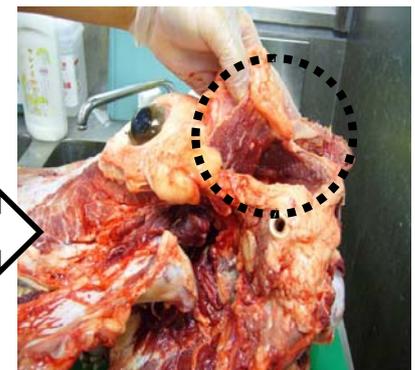


舌への標識



頭部検査台の区分

頭部作業台の区分



30月齢超のSRM(コメカミ等)が切除されていないか最終確認

全頭への標識 + 頭部処理後の最終確認
 によってSRMが市場に流通する事を確実に防止

16

3 まとめ

BSE検査

- ・検査対象牛に実施



+

SRM除去

- ・分別管理を実施しSRMの範囲変更に対応



今後も今までと同様の安全を確保